



賞状を手にする執行義徳常務理事(中央)
＝東京都内

「21世紀金融行動原則」最優良事例 岐阜信金、運営委員長賞 脱炭素の経営支援に評価

岐阜信用金庫は、「21世紀金融行動原則」が選定する本年度の最優良取組事例で、運営委員長賞を受けた。取引先企業への脱炭素経営支援やサステナブル経営の実践を後押しする取り組みが評価された。

同金庫は2023年4月に信用金庫業界では初めて「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」と「ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン(SLL)」の取り扱いを開始。同SLL

を全国の信用金庫でも取り扱えるよう、信金中央金庫にノウハウを提供した。森林Jークレジット(排出枠)の創出支援を提携先と連携して行つなど中小企業の伴走支援によるサステ

ナビリティ経営の普及、啓発にも取り組んでいる。

東京都内で表彰式があり、執行義徳常務理事が賞状を受け取った。同金庫は「一層、地域社会への貢献につながるESG(環境、社会、企業統治)金融に取り組んでいく」としている。

同行動原則は、持続可能な社会構築のための金融機関の行動指針として11年10月に策定され、300機関(2月2日時点)が署名している。